

(報告) ユーザー理解活動の取組状況

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2023年12月25日

《目次》

- | | |
|--------------------------------------|---------|
| 1. 2023年度ユーザー理解活動の計画 | ・・・ P2 |
| 2. ユーザーを対象としたアンケート調査結果 | ・・・ P5 |
| 3. 広くユーザーを対象とした普及啓発の取り組み
(主要な施策例) | ・・・ P7 |
| ・地域イベント、運転免許センター等、高速道路SA | |
| ・テレビ・ラジオの活用、デジタルメディアの活用、他 | |
| ・大学生等を対象にした施策、小学生等への学習支援、他 | |
| 4. 活動費の執行状況(上期) | ・・・ P12 |

1. 2023年度活動計画 その1

【基本方針】

2021年7月自動車リサイクルに関する合同会議（産業構造審議会、中央環境審議会）の「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」の提言に基づき、幅広い観点からユーザーの理解を促進するため、関係者間の連携を促進しつつ、より透明性の高い情報発信を行う。また、ユーザーと事業者間の円滑な取引に寄与するため、制度におけるユーザーの役割について普及啓発に取り組む。

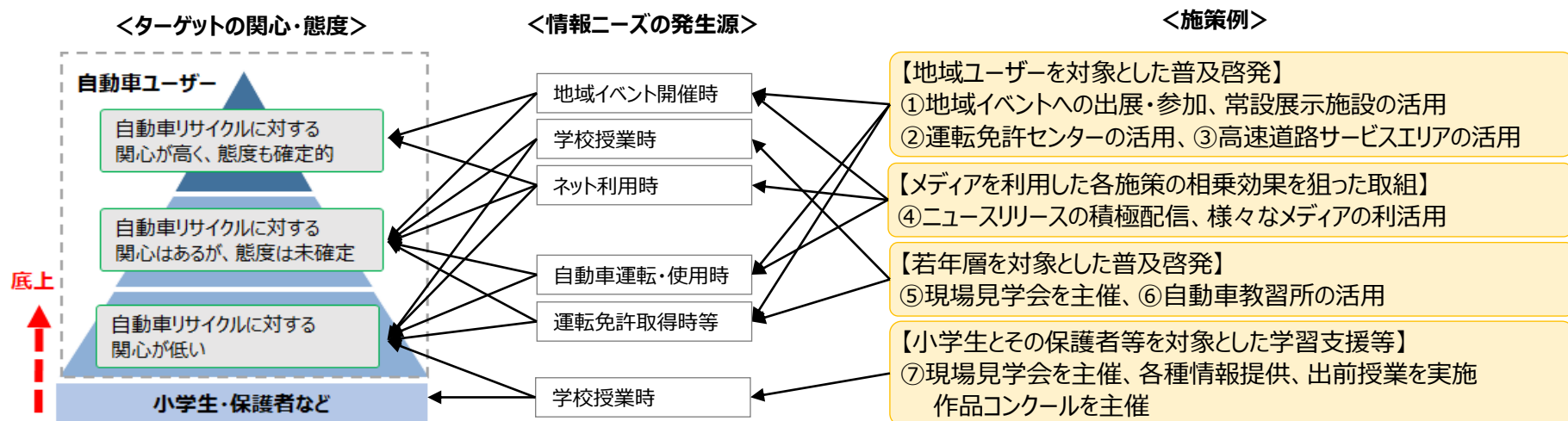
【活動の意義：「合同会議報告書」を基にJARC要約】

- 制度の一層の安定化・効率化に向けては、ユーザーが制度の趣旨を理解し、自身の役割を果たすことが重要である。
- 引取事業者、解体事業者、破碎事業者、製造事業者などの関係主体には、それぞれの役割の中でユーザーに対して適切に情報提供を行い動機付けすることが求められている。
- JARCは関係主体による情報提供が円滑に行えるようにユーザーに限らず広く一般の認識を高める取り組みを行っている。

【活動の方向性：アンケート結果を基に力点をおく取組】

- 制度を「まったく知らない」と回答した割合を小さくする必要がある。
- 若年層の認知度を高めていく必要がある。また毎年出現する新規ユーザーの認知を広げる必要がある。

ユーザーの関心・態度に合わせた施策の展開図



1. 2023年度活動計画 その2

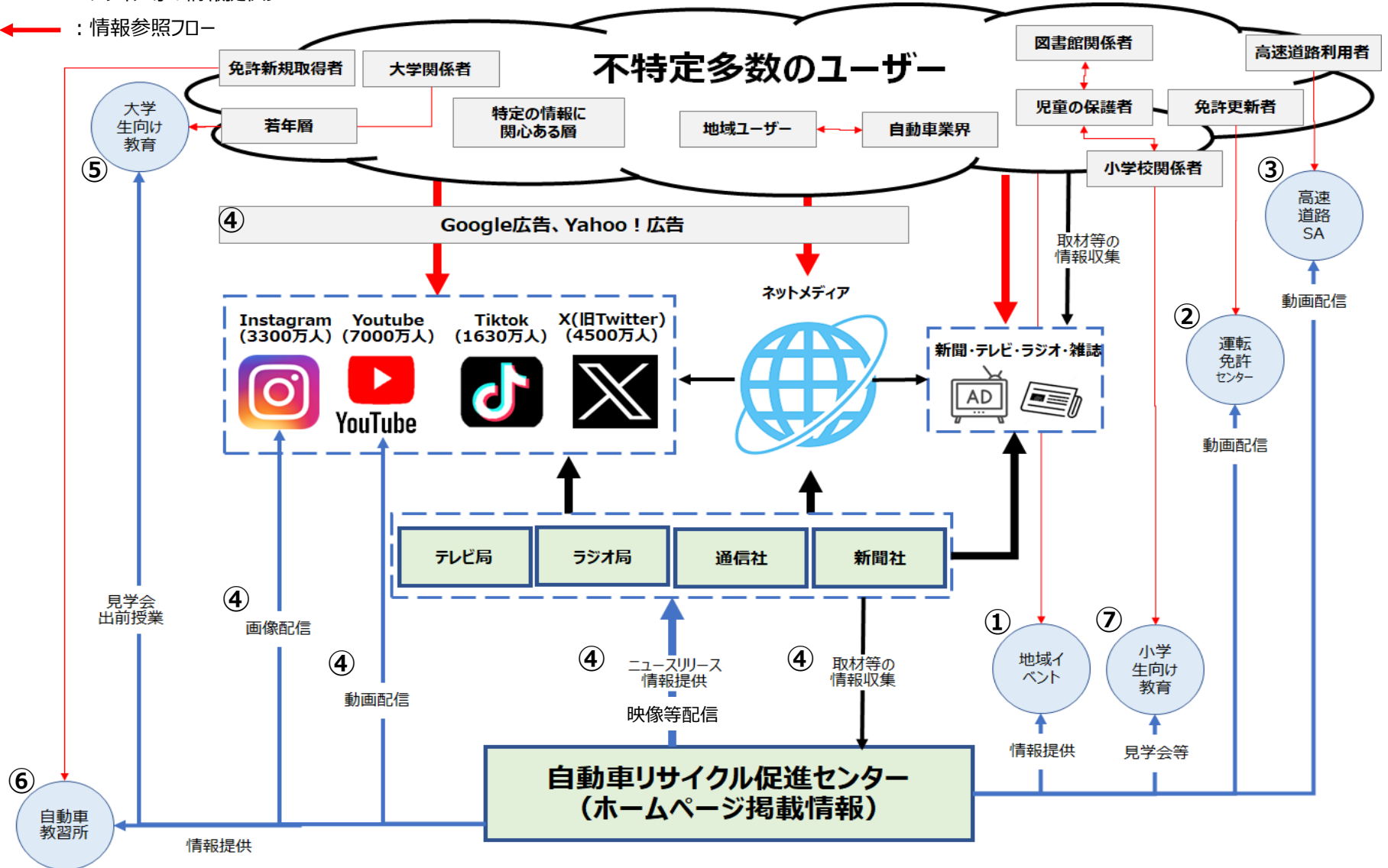
(凡例)

不特定多数のユーザーを対象にした普及啓発活動の展開図 (一例)

← : JARCの情報提供フロー

← : メディア等の情報提供フロー

← : 情報参照フロー



1. 2023年度活動計画 その3

活動スケジュール

#	目的	施策例（一例）	イメージ	1Q	2Q	3Q	4Q		
1	地域ユーザーが「自動車リサイクル」に接触する機会を創設・拡大する ①	【改善】 地域イベントに出展 常設展示施設		★ 札幌市 ★ 横浜市 ★ 広島市	★ 金沢市 ★ 名古屋市	★ 秋田市 ★ 東京	★ 大阪・東京 + α	★ 水戸市 ★ 福岡市 ★ 京都市	出展：10か所 常設：2か所 + α
2	②	【新規】 高速道路SAの活用							出展：47か所
3	③	【拡大】 運転免許センターの活用						熊本県警、福岡県警、愛知県警、群馬県警、石川県警 + α	出展：10か所
4	④	【拡大】 Radikoの活用 SNS等の活用 テレビ・ラジオの活用 等		事業者選定	テレビ・ラジオ・Radiko、SNS等施策（Google、Yahoo!、Twitter等）				SNS等施策：10件以上 延べ接触者数：3億人
5	若年層が「自動車リサイクル」に接触する機会を創設・拡大する ⑤	【改善】 若年層を対象にした現場見学会等		大学・事業者と協議・調整		見学会等			5か所
6	⑥	【改善】 自動車教習所の活用			運転免許学科教本の活用				75万部展開
7	小学校児童の学びを支援する ⑦	【改善】 現場見学会等		新聞社選定	記事制作・展開	見学会			6か所
8	小学校児童の学びを通じて、その保護者、地域ユーザーへの情報拡散を図る	【改善】 クルマのリサイクル作品コンクール運営		3か所訪問 個別表彰実施	★ 事前告知 ★ 準備 ★ 開催案内	作品募集			目標：1万件 ★ 審査 ★ 表彰式
9		【新規】 出前授業を実施		事前準備		出前授業			
10		【新規】 公立図書館等への寄贈図書 の制作		調達準備	事業者選定	企画・検討・準備	制作		

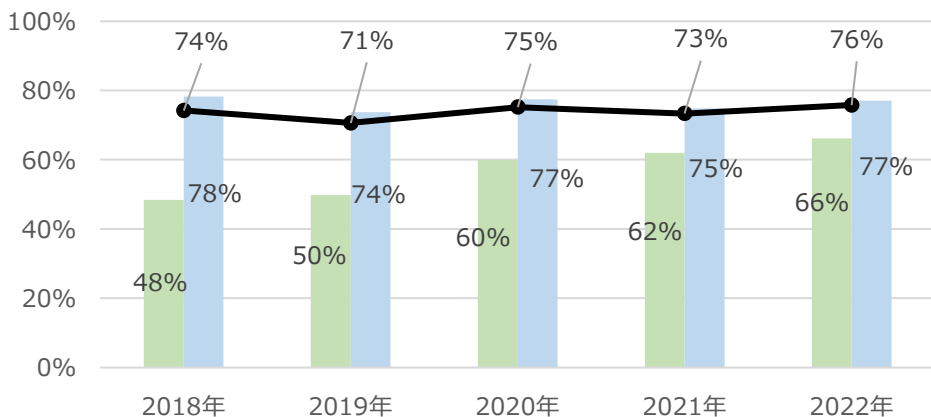
2. ユーザーを対象としたアンケート調査結果 その1

- ユーザーの自動車リサイクルについての認知度は**全体の76%**(前年73%)。
- 小学生向けに力点を置いた施策などを継続した結果、30歳未満の認知が向上(62%→66%)。
- 自動車リサイクルについての「知っている内容」と「知った経路」については大きな変化はない。

ユーザーの認知度の推移

2022年度：n=1,547

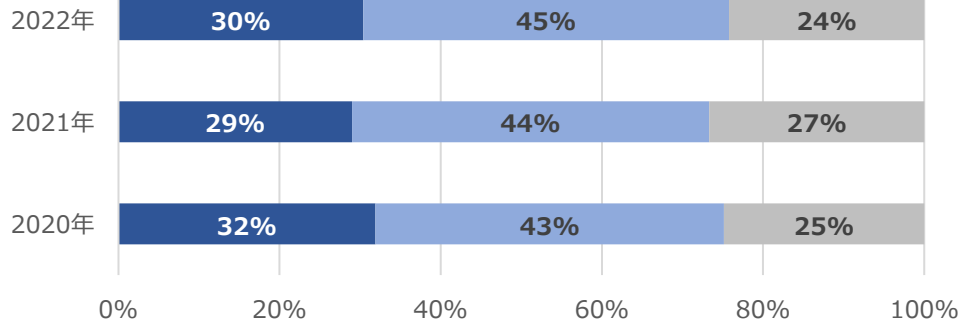
30歳未満 30歳以上 全年齢



認知度に関する設問と回答結果

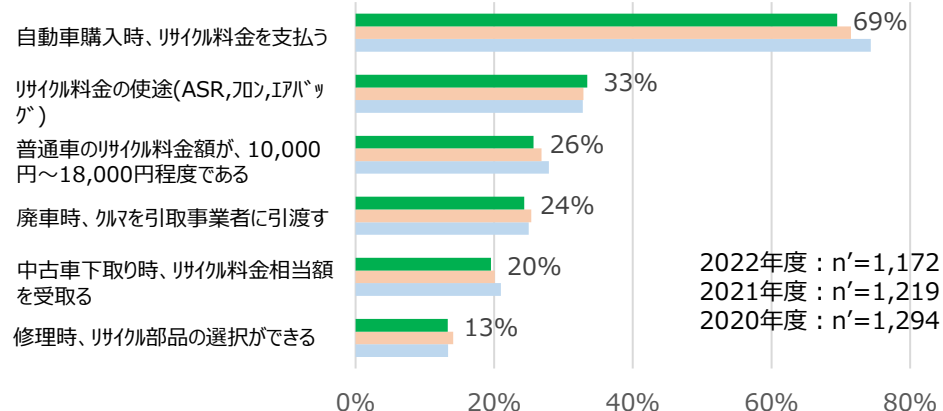
(設問) あなたは、2005年から施行された「自動車リサイクル制度」をご存知ですか。

■ どの仕組みか知っている ■ 名前を聞いたことがある ■ まったく知らない



自動車リサイクルについて知っている内容例

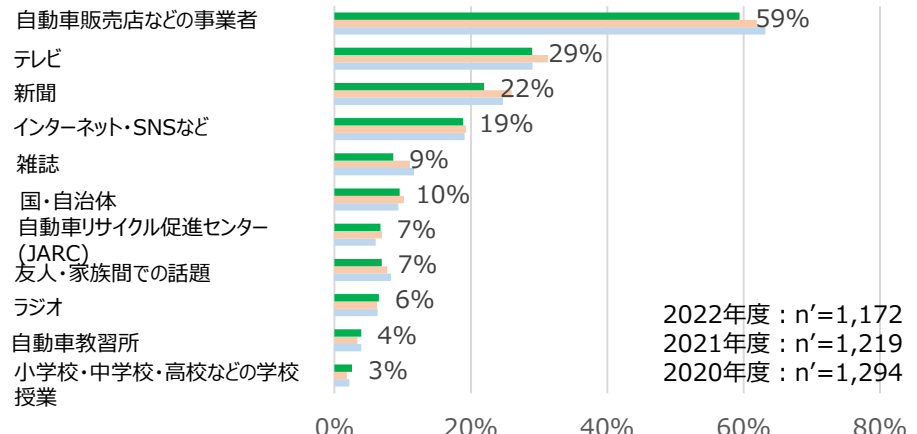
2022年 2021年 2020年



2022年度：n'=1,172
2021年度：n'=1,219
2020年度：n'=1,294

自動車リサイクルを知った経路(情報源)

2022年 2021年 2020年



2022年度：n'=1,172
2021年度：n'=1,219
2020年度：n'=1,294

2. ユーザーを対象としたアンケート調査結果 その2

調査の概要および結果の概要は次のとおり。

※詳細は、「自動車ユーザーへのアンケート調査結果」をご参照。(URLは [こちら](#))

(1) 調査の概要

1) 調査の対象

- ・過去3ヶ月以内に自動車を購入した全国18歳以上の男女

2) 調査の方法

- ・調査期間：2023年5月18日(木)から22日(月)
- ・調査方式：インターネット調査方式
 - ※調査会社のパネルから無作為に抽出
 - ※本財団の委託事業として、株式会社インテージが実施
- ・サンプル数：1,547件
 - ※年齢別運転免許保有割合(警察庁)を参考にした割付

3) 調査の内容

ユーザーの自動車リサイクル制度への関わり方について4点

- ①ユーザーの自動車リサイクルについての認知状況
- ②自動車購入時におけるユーザーの関わり方
- ③中古車売却時におけるユーザーの関わり方
- ④廃車時におけるユーザーの関わり方

4) 回答者の属性(一例)

- ・新車購入者：63%、中古車購入者：37%

(2) 結果の概要

①ユーザーの自動車リサイクルについての認知状況

回答者の内(1,547人)、「自動車リサイクルの仕組みを知っている」または「名前を聞いたことがある」と回答した方は76%。
その認知者の内、自動車購入時、リサイクル料金を支払うことを知っている方は69%。リサイクル料金の用途を知っている方は33%。

②自動車購入時におけるユーザーの関わり方

購入時(1,547人)、リサイクル料金を支払ったことを記憶している方は63%。また、自動車購入時、リサイクル料金の説明を受けたことを記憶している方は37%。

③中古車売却時におけるユーザーの関わり方

売却時(687人)、自身の自動車にリサイクル料金が支払われていたことを記憶している方は47%。
その記憶者の内、中古車売却時、相手から「リサイクル料金相当額」を受け取ったことを記憶している方は52%。

④廃車時におけるユーザーの関わり方

廃車時(125人)、引き取りを依頼した相手から「使用済自動車引取証明書」の交付を受けたと回答した方は27%。

3. 広くユーザーを対象とした普及啓発の取り組み その1

- 地方公共団体等が主催する地域イベント10か所で普及啓発を実施中。
- 「運転免許センター・試験場」10か所との協議を踏まえ、順次、情報発信を実施中。
- 「高速道路の主要サービスエリア」47か所で情報発信を実施中。

【取組み例1】地域イベントへの出展

合計10か所で普及啓発を取り組み中。

エリア	開催地	イベント名	開催月日
北海道	札幌市	環境広場ほっかいどう	4/15-16
東北	秋田市	あきたエコフェス	9/2-3
関東	東京	エコプロ	12/6-8
	水戸市	水戸市環境フェア	8/19
	上尾市	SAITAMA環境フェス	5/13-14
北陸	金沢市	いしかわ環境フェア	8/26-27
中部	名古屋市	環境デ-なごや中央行事	9/16
近畿	京都市	京都環境フェスティバル	2月予定
中国・四国	広島市	「環境の日」広島大会	6/18
九州	福岡市	環境フェスティバルふくおか	10/7



札幌

広島

秋田



石川

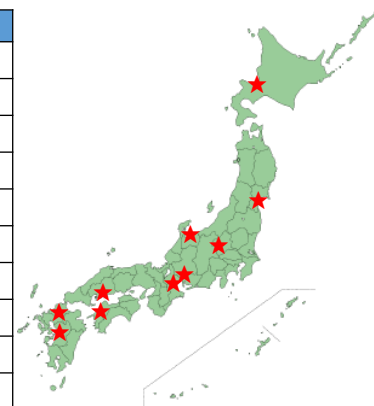
名古屋

福岡

【取組み例2】運転免許センター・試験場の活用

合計10か所（利用者数：年間延べ248万人）で情報発信中。

エリア	運転免許センター等
群馬県	群馬県総合交通センター
愛知県	東三河運転免許センター
富山県	富山県運転教育センター
福岡県	福岡自動車運転免許試験場
三重県	三重県運転免許センター
熊本県	熊本県運転免許センター
広島県	広島県運転免許センター
北海道	札幌運転免許試験場
愛媛県	愛媛県運転免許センター
宮城県	宮城県運転免許センター



【取組み例3】高速道路サービスエリアの活用

合計47か所（利用者数：年間延べ2億人）で情報発信中。

<展開エリア>

① 浜名湖SA
② 宝塚北SA



3. 広くユーザーを対象とした普及啓発の取り組み その2

- 9月末までにニュースリリース17件配信。当該情報がネットメディア967媒体に転載。
- 9月末までに地上デジタル放送で動画427本配信。ラジオ放送699本配信。
- 9月末までにSNS等のデジタルメディアを活用した情報発信 5 件以上実施。

【取組み例 4】ニュースリリースの積極配信

ニュースリリース**17件**、**967媒体**への転載による広告効果を
 広告費に換算すると**259,151,534 円**相当であった。

<一例>

(参考) ネットメディア例

毎日新聞、朝日新聞、四国新聞、京都新聞、奈良新聞、山形新聞、福井新聞、
 沖縄タイムスプラス、紀伊民報、千葉日報、宮崎新聞、新潟日報、茨城新聞、徳島
 新聞、福島民友、紀伊民報、山梨新聞、河北新報、上毛新聞、秋田魁新報、下野
 新聞、週刊女性PRIME、AFP BBNews、楽天 NEWS、Google ニュース、
 Impress Watch Headline、excite ニュース、J-CAST ニュース、他

【取組み例 5】テレビ・ラジオを活用した情報発信

各種施策の実施タイミングで集中的に配信中。
 テレビ・ラジオを組み合わせると**延べ3億人**への接触を図る。

区分	区分	配信期間	放送局	延べ接触者数 (計画値)
テレビ (地上波)	関東除く 全国	6月から 1月	各道府県放送局	1億2,000万人
ラジオ	全国	6月から 2月	TOKYOFM、文化放送、 ニッポン放送、各地域	1億8,000万人

【取組み例 6】SNS等のデジタルメディアを活用した情報発信

3. 広くユーザーを対象とした普及啓発の取り組み その4

- 大学生等を対象にした解体現場の見学会を5回実施。
また見学会実施に際してはメディア誘致により地域ユーザーへの情報展開に取り組んだ。
- 9月末までに自動車リサイクルの情報を掲載した運転免許学科教本約33万部配付。

【取組み例7】大学生等を対象にした知る機会の提供

大学生を対象にした解体現場の見学会を**5回実施**。
見学会実施に際してはメディア誘致にも取り組んだ。

【取組み例8】新たに運転免許を取得する方への情報提供

運転免許取得者の内、20代以下の割合は約88%。(2022年度)
9月末までに教習生が使用する運転免許学科教本約**33万部配付**。

参加大学	協力事業者	開催日
一橋大学	CRS埼玉株式会社 (埼玉)	6/13
立命館大学	KMI株式会社 (岐阜)	6/14
西南学院大学	オートリサイクルナカシマ福岡 (福岡)	6/24
近畿大学	多田自動車商会 (兵庫)	11/17
福島大学	ナプロアース (福島)	11/14



CRS埼玉



KMI



オートリサイクルナカシマ福岡



多田自動車商会



ナプロアース



運転免許学科教本への掲載情報

未来の地球のために!進め!クルマのリサイクル
循環型社会の実現に向けたクルマのリサイクルの取り組みを知ろう!

楽しく学べるクルマのリサイクル
特設ページ OPEN

自動車リサイクルタウンへ
行ってみよう!

それぞれの建物では、自子や映像、リサイクルの現場を
体験できるツアー、クイズやコンクール作品など
様々なコンテンツが見られるよ。

ご視聴はこちらから ▶▶▶

金属製は原料材に戻して
様々な製品に使われます。

プラスチックは原料材に戻して
様々な製品に使われます。

ガラスは原料材に戻して
様々な製品に使われます。

タイヤは原料材に戻して
様々な製品に使われます。

自動車リサイクルの流れ

ユーザーが廃車を依頼する
→ 解体業者が解体・資源回収
→ 資源をメーカーやメーカーが
リサイクルする

ユーザーは廃車を依頼する
→ 解体業者が解体・資源回収
→ 資源をメーカーやメーカーが
リサイクルする

ユーザーが廃車を依頼する
→ 解体業者が解体・資源回収
→ 資源をメーカーやメーカーが
リサイクルする

ユーザーが廃車を依頼する
→ 解体業者が解体・資源回収
→ 資源をメーカーやメーカーが
リサイクルする

詳しくは自動車リサイクル促進センター HP まで

JARC 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター <https://www.jarc.or.jp/>

3. 広くユーザーを対象とした普及啓発の取り組み その5

- 小学生とその保護者を対象にした学習支援を6回実施。
また見学会実施に際してはメディア誘致により地域ユーザーへの情報展開に取り組んだ。
- 小学生とその保護者・教育関係者に向けて自動車リサイクルに関する記事を140万部展開。

【取組み例9】小学生等を対象にした学習支援①

小学生を対象にした学習支援を合計**6回実施**。
見学会実施に際してはメディア誘致にも取り組んだ。

【取組み例10】小学生等を対象にした学習支援②

自動車リサイクルの関係者の努力・工夫を紹介した記事を展開。
小学生新聞**140万部**および関係事業者へ配付。

観点	協力事業者	取材日
製造事業者の取組	スズキ株式会社（静岡）	9/15
販売事業者の取組	株式会社スズキモーター和歌山（和歌山）	11/3
オークション会場の取組	JU石川（石川）	8/7
整備事業者の取組	有限会社新和自動車整備工場（岩手）	8/1
解体事業者の取組	株式会社マーク・コーポレーション（三重）	11/22
破砕事業者の取組	リバー株式会社川島事業所（埼玉）	9/29



スズキ



JU石川



親和自動車整備工場



マーク・コーポレーション



スズキモーター和歌山



リバー川島事業所

【製造事業者編】



記事URL：
www.jarc.or.jp/trend/36504/

【販売事業者編】



記事URL：
www.jarc.or.jp/trend/32529/

【オークション会場編】



記事URL：
www.jarc.or.jp/trend/35988/

【整備事業者編】



記事URL：
www.jarc.or.jp/trend/33543/

【解体事業者編】



記事URL：
www.jarc.or.jp/trend/30064/

【破砕事業者編】



記事URL：
www.jarc.or.jp/trend/35117/

3. 広くユーザーを対象とした普及啓発の取り組み その6

- 第7回「クルマのリサイクル」作品コンクールの作品募集を開始（募集期限：2024年2月末）
- 2022年度コンクールにおいて団体特別賞を受賞した小学校3か所を個別に訪問し表彰を実施。

【取組み例 1 1】「クルマのリサイクル」作品コンクール

募集期間：2023年9月1日から2024年2月29日

作品コンクールの詳細は次のURLを参照：<https://www.jarc.or.jp/contest2023/>

【取組み例 1 2】個別訪問表彰を実施

個別訪問表彰の情景を地域メディアを通じて地域ユーザーに紹介。



(秋田県) 大館市立成章小学校



(鹿児島県) 曾於市立財部南小学校



(高知県) 四万十町立北ノ川小学校

4. 活動費の執行状況（上期）

上期活動に要した費用は、7,545万円(執行率75.6%)であった。

- 競争入札で調達価格減。また、昨年度振返りを踏まえ実施スケジュールを見直したことによる期ずれ（下表#2）。
- 競争入札で調達価格減。また地域イベント等の開催日程の変更に伴い、メディア配信スケジュールを見直したことによる期ずれ（下表#4）。
- 昨年度振返りを踏まえ実務を改善。また一部実務を内製化したことにより活動費減（下表#3）。

ユーザー理解活動に要した費用の内訳

(単位：万円)

#	取組みの目的	施策例	年度 計画額	上期（第1Q・第2Q）		
				計画額 ①	決算額 ②	執行率 ②/①
1	➤ 地域ユーザーの知る機会の創出	・ 地域イベント、常設展示施設での普及啓発 ・ 運転免許センター等、高速道路SAでの情報発信	4,910	2,280	2,183	95.8%
2	➤ 小学生の学びの機会の創出 ➤ 小学生の保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起	・ 関係者の努力・工夫を紹介 ・ 学校教育に役立つ情報を提供 ・ 作品コンクールを開催	6,050	2,400	1,631	68.0%
3	➤ 若年層の知る機会の創出	・ 関係者の努力・工夫を紹介 ・ 自動車教習所での情報発信	2,050	1,077	509	47.3%
4	➤ メディアミックスによる知る機会の創出 ➤ 各施策の相乗効果を高める取組み	・ ニュースリリースの積極配信 ・ その他のパブリシティ活動	0	0	0	-
		・ メディアを活用した情報発信	8,700	3,111	2,235	71.8%
5	➤ 透明性の確保、発信情報の改善 ➤ 自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握	・ 公式ウェブページ等の制作・改善等 ・ 広報冊子等のコンテンツ制作・増刷等 ・ ユーザーの認知状況の把握 他	4,490	1,116	985	88.3%
合計			26,200	9,984	7,545	75.6%

*合計額には、人件費・管理費等を含まない。ユーザー理解活動に要した費用は特預金と繰越金から負担される。

<https://www.jarc.or.jp/>